

2022年5月5日

ペナルティボックスマニュアル Ver.1

1. はじめに

タイムペナルティは、失格にはならない違反に与える適切なペナルティである。エイジグループでは、バイクのペナルティをバイクペナルティボックスで課すルールであるが、本レースではTDの指示によりフィニッシュ手前ランコースに場所を変更しタイムペナルティをとる。

ランに関係するタイムペナルティは、ペナルティボックスは利用しないこととする。

- ① バイク周回数が6周回となり、時間によっては10mに一人の密度になる
- ② 上記状態でオートバイ乗車T Oがドラフティング中のバイクにペナルティを与えることは非常に危険（エイジでは選手の安全確保が最優先）
- ③ 競技規則にあるようにエイジの部は注意対応が主で、余程悪質なドラフティングでない限りタイムペナルティは取らない

2. オペレーション

- ① 選手よりレースナンバー、受けたペナルティの数と提示されたカードの色を申告してもらう。
- ② ペナルティの計時を開始する。
 - A) ブルーカード（ドラフティング）：2分（スタンダード）、1分（スプリント/パラ）
 - B) イエローカード（その他）：15秒（スタンダード）、10秒（スプリント/パラ）
- ③ 計時が終了したら“Go”といい選手はレースを再開する。

3. レイアウト

ペナルティボードの裏に、白テープでペナルティを受けるエリア(3m x 3m)を作り、選手の計測はそのエリア内で実施する。



4. 必要機材

テーブル 1

椅子 3

ストップウォッチ 3

白テープ 1

5. サイネージ

200m 前およびペナルティボックス前に次のサインを掲示

2m 高が推奨されている



参考) タイムペナルティとなる例 (World Triathlon Competition Rule Appendix K より)

エイジレースにおいてタイムペナルティとなる行為はバイクのみ

3 上の理由でコースを出たが、再入場した場所でアドバンテージを得た (タイムペナルティ)

#65 ドラフト禁止のスプリント・スタンダードレースでのドラフティング (1 回目ドラフティングタイムペナルティ、2 回目 DSQ)

#66 20 秒以内に追い越された選手が、相手のドラフトゾーンから外れない (1 回目ドラフティングタイムペナルティ、2 回目 DSQ)

#67 追い越された選手が、相手のドラフトゾーンから外れることなく抜き返す (1 回目ドラフティングタイムペナルティ)

ムペナルティ、2回目 DSQ)

#73 車両やモーターバイクへのドラフティング行為 (警告⇒ドラフティングタイムペナルティ)

#75 ドラフト禁止レースでのブロックング (タイムペナルティ⇒DSQ)

#84 バイク競技での危険な乗車

(タイムペナルティ⇒意図的な繰り返し : DSQ)

参考2) ランに関係するタイムペナルティはその場で実施

#3 上の理由でコースを出たが、再入場した場所でアドバンテージを得た (タイムペナルティ)

#89 支柱、木、他固定物を利用してカーブを曲がる (タイムペナルティ)

以上